

Q

9/15

総務産業常任委員会所管

A

下水道受益者負担金で平成30年度決算額が、湯本189万円、黒田原465万円となっていて、令和元年度は湯本4万5千円、黒田原87万円と大きく差があるがなぜか。

平成30年度は、湯本は宿泊施設、黒田原は分譲住宅等の接続(新設)があり、令和元年度はそれらが無かったために差が出た。

水道事業において監査報告にもあったが、2年間続いた黒字が元年度は赤字になった。今後の見通しは。

かなり厳しい状態で、黒字と赤字の狭間にいる。経費の節減と同時に水道加入を促進し収益を上げていきたい。

町青少年クラブ協議会（4 Hクラブ）は将来の農業を担っていく町の貴重な人材だと思うが、ドローン講習会や外国人実習生との交流会を行った際に、補助は可能か。



4 Hクラブの支援は農業公社で行っているが、要望等あれば検討していきたい。

共同利用模範牧場への毎年約2000万円の委託料は、必要なのか。見直しをかける時期ではないのか。

審査会で評価をしており、持続効果があるとされている。牛の預託も減らず、500頭を放牧しており必要と考えている。

有害鳥獣のサルについて、検討しているか。



苦情がきたら獵友会に連絡し、追い払いや巡回はしている。六斗地に巨大わなを設置、捕獲したこともあるが、今は実績はない。費用を含め場所の設定に関して、町外の地域を調査し、検討したい。

町道除雪業務545万円について、昨年は暖冬であったが、何日稼働したのか。



1日に複数回稼働する日もあり、令和元年度は82回出動している。(平成30年度は163回出動)

運転免許自主返納者助成金47万円について。返納時に福祉タクシー券1万5千円の助成をしているが、高齢者の事故を防ぐため、昨年はどのような工夫や努力があったか。

広報などで周知啓発を行っており、返納者は年々増えている。町民からの要望は今のところ多くないので、今の状況で高齢者の交通安全に寄与していると考える。

黒田原地区まちづくりセンターの使用人数が330人に対して、収入が3500円だが内容について聞きたい。

収益を上げる施設ではない。使用料免除の団体が多かった。

